

出雲崎町



# 公民館だより 3月号

第430号

平成 25 年 3 月 6 日発行

編集：出雲崎町公民館

Tel 0258-78-2250

出雲崎町民体育馆

Tel 0258-78-4700

## 公民館レポート



### 出雲崎総合大学・閉講式



#### 全単位取得者（順不同）

生田 フジ さん (小木)

佐々木 直江 さん (羽黒町)

仲野 伊都子 さん (川西)

#### 基準位取得者（順不同）

池田 謙一 さん (下小竹)

磯部 友記雄 さん (大門)

井ノ川 恵 さん (下小竹)

井ノ川 良弘 さん (下小竹)

遠藤 達実 さん (藤巻)

小山 晴代 さん (てまり団地)

佐藤 テイ さん (勝見)

高野 千恵子 さん (常楽寺)

太古 キミ さん (羽黒町)

日木 徳子 さん (大門)

### 良寛記念館

「良寛さんをご紹介」展 開催中

4月25日(木)まで

### 今月の折込チラシ

今月号の公民館だよりには、以下のチラシが折り込んであります。ぜひご覧ください。

- ・『料理教室（第3回）参加者募集』

# 功績を讃えて

平成24年度出雲崎町教育委員会表彰式・体育協会表彰式



吉田 真結子  
第35回全国選抜高校テニス大会新潟県大会女子団体準優勝



高桑 広栄  
第57回全国教職員卓球選手権大会男子シニア団体第3位



佐藤 拓哉  
第69回ボクシング東日本新人王 フライ級決勝戦第1位に認定

2月25日（月）に、中央公民館講堂において「平成24年度出雲崎町教育委員会表彰式・体育協会表彰式」を開催しました。教育委員会表彰は、町の学校教育・社会教育活動等に功績のあった方を対象に町の教育振興を図ることを目的として、また体育協会表彰は、町のスポーツ活動の振興に寄与された方を対象に町のスポーツ活動の発展と向上を目的として、それぞれ表彰をしています。

今年度は、上記3名の方々が受賞され、受賞者を代表して高桑広栄さんが「少しでも町の活性化の一助となるよう、これから活動に励んでいきたい。」と喜びを述べられました。より一層のご活躍を期待しております。

## ママと一緒にお菓子づくり

中央公民館にて開催をしている「めばえ教室」。1歳以上の子どもたちとその保護者が参加し、毎回楽しく活動をしています。



2月22日（金）には9組の親子が参加し、みんなでホットケーキを作りました。小さな手で一生懸命に生地をこねたり、星やハートのかわいいトッピングに大喜びの様子でした。

次回、3月15日（金）が今年度最終回の教室となりますので、お忘れのないようご参加ください。

## 図書館だより



### 中央公民館



#### 何者

…朝井リョウ 著

就活の情報交換をきっかけに集まった若者たち。影を宿しながら光に向いて進む彼らの自意識をリアルに描く書下ろし長編小説。第148回(平成24年度上半期)直木賞受賞作。



#### 僕の死に方 エンディングダイアリー500日

…金子哲雄 著

昨年10月、41才という若さで急逝した著者が、「余命0」宣告を受け入れて、死の準備を整えるまでの一部始終を、死の1ヶ月前から最後の力を振り絞って書き上げた一冊。

### 町立図書館（海岸公民館）



#### 等伯（上・下）

…安部龍太郎 著

能登の絵仏師・長谷川信春の強い想いが、戦国の世にあって次々と悲劇を呼ぶ。絵師「等伯」の誕生を骨太に描いた長篇小説。第148回(平成24年度上半期)直木賞受賞作。



#### カジュアル・ベイカンシー（1・2）

…J.K.ローリング 著

一見のどかなイギリスの町パグフォード。ある男が40代の若さで死んだ。その死をきっかけに立て続けに起こる事件の連鎖…。『ハリー・ポッター』シリーズ作者の最新作。

このたび町内の方から、書籍「昭和の時代～世相に見る64年～（全3巻）」をご惠贈いただきました。昭和の各分野が網羅されている書籍です。中央公民館にございますので、どうぞご利用ください。

※この他の新着図書は、新着一覧を中央公民館・町立図書館（海岸公民館）それぞれに掲示しておりますのでご覧ください。

～みなさんの身近な情報を寄せください～

# 今月のコラム



# 目と目合わせて 笑顔でいさつ

## 東日本大震災後の復旧は…

公民館長 佐藤 亨

一昨年発生した3・11「東日本大震災」から2年が経つ。津波から必死に逃げる姿・悲鳴、また、未だ撤去等困難極める原子力建屋の映像を改めて見て、その凄まじさ、恐怖心、自然への畏（おそ）れは今なお止まない。震災後、地域によつては復興、復旧がかなり進んでいるようだが、現状はどうなのだろう。

昨年秋、「東北応援ツアーハー」と称して仙台方面に行く機会があつた。行く先々で、地震・津波の爪痕や回復ぶりを見てきた。

津波の達した水位跡が、背丈以上の高さで残る建物。もちろん海水を浴びて枯れた木々。また、一段高い道路が防波堤の役目を果たした結果、津波が遮られた側の田畠には青々とした野菜が見え、一方、海水をかぶった側は土壤が枯れた姿が車窓から見えた。左右の田畠の明と暗は一目瞭然である。この状況は承知していたが、実際に見るのは初めてであり、関心を持つて見渡した。

松島・瑞巖寺では、山門前の2店舗が閉じていたのに驚くと共に、門に入るや否や、ある異様さが目に入つた。本堂に向い参道左手にあつた年輪を重ねた多くの杉木立が根元から伐採され、空白地帯と化していた。地面が地震で下が

いた。山門に出て、せめて労いの言葉をと思い、土産店の女性店員に声をかけた。「大きく揺れて怖かったです。品物は落ちるし、海水の後始末によつては大変でした」と、思い起こすように言葉が返ってきた。

松島町は、隣接する東松島市に比べ、地震、津波での死者・行方不明者数は極端に少ない。

（松島町7人 東松島市1,116人・H24・9・11現在）宮城県災害対策本部調べ）地震後、松島町の

人たちは「島が町を守つた」と口を揃えた。海抜0mに等しい松島町は湾内に250mを超える大小の島がある。専門家は、島々が津波の流れを分散したと指摘した。その島々に影響が無かつたわけではない。観光スポットの一つである「長崎穴」は姿を消していた。武将・伊達政宗が好んだという「仁王島」は、頭の部分が落ちそろになつたが元の形状に修復されていた。所々の島で、松の木が枯れたりしていたが、海苔やカキの養殖棚は規則的に並び、遠目には以前と変わらぬ松島湾が眺望できた。部分的な見聞ではあつたが、地元の人たちの笑顔と活気に触れることができ、何よりであった。



## 〈西乃越句会〉

海鳴りの闇くぐり来る寒念仏

羽黒町 太古 誠一

立春や厨の窓に声彈む

川西 遠藤 比呂女

### 〈越後出雲崎 総合会〉

寺へ往く枯木の坂の多き町

住吉町 磯野 哲

貼りませの遺句の屏風や鮮しく

井鼻 細木 郵子

### 〈出雲崎小学校児童の俳句〉

さいのかみするめをたべておいのりを

四年生 佐藤 愛梨

冬の海あれててふねがでれないよ

四年生 内山 莉瑠

わあ節分おにをたおすの樂しみだ

五年生 小林 遼太

雪がふり丸めて作つた白うさぎ

五年生 佐藤 芽生

雪が降り手ぶくろ達の出番くる

六年生 小林 倭子

雪景色白に包まれ神祕的

六年生 佐藤 涼太

# 町体だより



## ファミリースキー＆スノーボードを開催



2月17日（日）魚沼須原スキー場において「ファミリースキー＆スノーボード」を開催しました。

予想を大きく超える参加申込があり、総勢63名での賑やかな出発となりました。

会場は、雪の質・量ともに申し分なく、晴天にも恵まれて最高のコンディションでした。インストラクターによる講習やフリー滑走、またはそり遊び等、各々の冬の楽しみ方を満喫していました。最後には、最寄りの日帰り温泉で疲れを癒し、楽しい1日を締めくくりました。

## 小木ノ城Aチームが優勝



2月14日（木）「第26回屋内ゲートボール大会」を開催しました。今年度最後の町内大会に各チームが全力で臨みました。

大会 結果	優勝：小木ノ城A 準優勝：小木ノ城B 第3位：五ヶ字、上中条
----------	-----------------------------------

## 出雲崎町近郷ゲートボール大会



3月1日（金）出雲崎町体育協会主催「第11回出雲崎町近郷ゲートボール大会」を開催しました。

和島・三島・寺泊・与板・西山・刈羽・出雲崎の代表16チームが優勝を目指し、レベルの高い試合を繰り広げました。大会は、石地チームが西山勢としては4年ぶりの優勝を果たして幕を閉じました。

## 3月の指導員日程 ~トレーニングルーム~

26日(火) 19:00~20:00

トレーニング内容等、  
お気軽にお声かけください。

大会 結果	優勝：石地(西山) 準優勝：同心会(与板) 第3位：はまなす(寺泊)、和島(和島)
----------	--

～みんなさんの身近な情報をお寄せください～